

農村計画委員会活動報告

2015年3月25日

岡田知子

農村計画の対象エリア

国土面積の74.3%

(都市計画区域: 25.7%)

水源かん養

洪水の防止

土壌の浸食や崩壊の防止

大気浄化機能

気候緩和機能

生物多様性保全機能

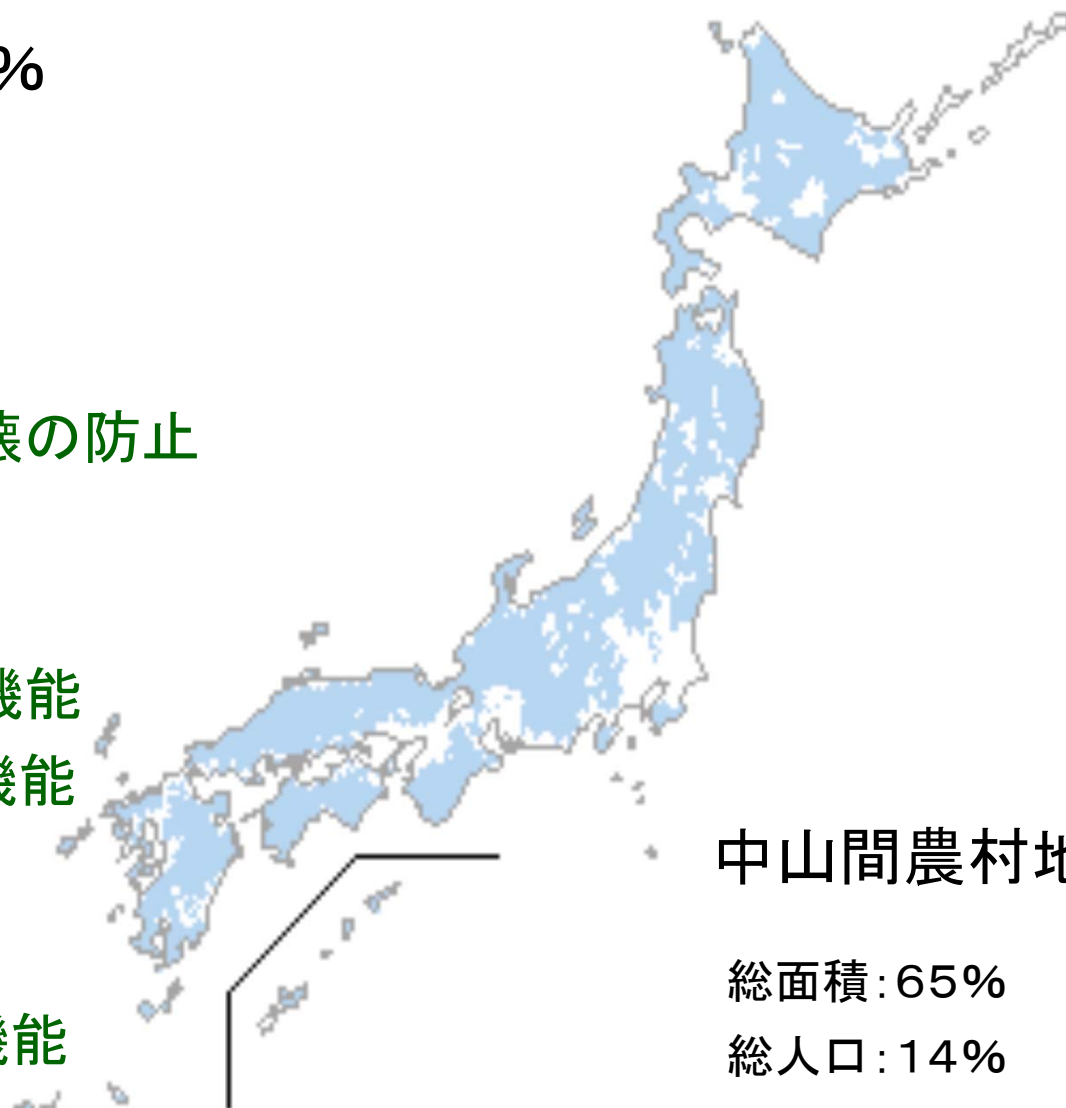
良好な景観形成機能

文化的機能

保健休養機能

体験学習と教育機能

安全な食料供給



中山間農村地域

総面積: 65%

総人口: 14%

委員会組織

2014年度～新体制

本委員会／2期4年／35名

集落復興小委員会

農山漁村地域組織形成小委員会

農山漁村文化景観小委員会

農村環境共生小委員会

集落居住小委員会

農村・国土計画小委員会

ルーラルネットWG

アジア農村フォーラムWG

集落復興小委員会／15

農山漁村等の被災集落・地域における

- ①これまでの被害実態・復興過程を記録検証する。
- ②居住地の復興計画、集落施設の再建、生業や住宅を含む社会的再建のあり方を検討する。
- ③復興計画を支援する。
- ④調査、検討会、シンポジウムを開催する。

農山漁村地域組織小委員会／15

少子高齢時代の農山漁村地域をフィールドとし

- ①住民主体の地域組織による持続的な地域経営計画と農山村居住のあり方を検討する。
- ②交流会・共同研究、研究会・シンポジウムを開催する。
- ③全国の地域組織ネットワークをつなぎながら活動を支援し、発展させていく。
- ④住民主体の先進的な地域経営組織全国事例集・冊子を作成し、公表する。

農山漁村文化景観小委員会／12

農山漁村の自然・生業空間・集落等を一体として「文化的景観」としてとらえ、

- ①その保全と進展を学術的・技術的に支援する「フィールドスクール」を提案し、開催する。
- ②各地の事例に参画し文化的景観の選定や地域づくり等の支援活動をする。
- ③時空間的に連続性のある景観の持続について動的真實性、変化の真實性という新概念を提示する。
- ④これまでの活動を発展させ、海外事例との交流を行う。

農村環境共生小委員会／7

農山漁村をとりまく環境において生き物・野生動物との緊張的共生関係について

- ①農村環境計画、暮らしと生業、都市農村交流・環境学習の各視点から検討する。
- ②自然と人の生きつづけられる持続可能な農村空間デザインを検討する。
- ③「(仮)自然共生農村計画・農村空間デザイン論」として冊子をとりまとめる。

集落居住小委員会/15

「むらを住み継ぐカタチ」をテーマに

- ①先行事例地での研究会を開催する。
- ②家屋のみならず農地・山林・墓などの財産継承の課題を検討する。
- ③伝統的住まい方にみる集住地継承の知恵と工夫の抽出する。
- ④過疎地域において集住地を継承する現代的な方法論の構築する。

農村・国土計画小委員会／13

我が国の国土計画の空間計画制度のあり方について

- ①土地利用のコントロールが不十分な田園地域において歴史的背景やその制度的要因を明らかにし、都市農村計画制度についてさぐる。
- ②事例地区の調査とそれに基づいた地域に根ざした計画制度を検討する。
- ③農村地域における統計的、地域的な分析による計画課題を検討する。
- ④広域の地域国土計画の提言を行い、成果を出版する。

委員会活動

調査研究

小委員会をベースに外部資金を導入し、各テーマごとに実施

シンポジウム・研究会の開催

大会研究集会（毎年、研究協議会1回、PDまたは研究懇談会を1回実施）

春期学術研究会（毎年1回実施）

小委員会主催の研究会・ワークショップの実施

国際交流

韓国農村建築学会とほぼ毎年相互交流を実施

情報発信

HPの公開、出版物の刊行

主な調査研究

- 「東北日本沿岸地域の被災集落再生に向けた環境共生・参加型空間計画手法に関する研究」
三井物産環境基金(東日本大震災復興助成(研究助成))
2011年9月～2014年9月)
- 「流動的居住に着目した集住地を継承する主体の養成に関する研究」
科学研究費補助金 基盤研究(B)(一般)(H26～H28)



大会研究集会・春季学術研究会など

震災関連の活動

●2010大会PD

「安心して住み継げる故郷(くに)づくりー自然災害、大規模事業、地域衰退にどう取り組むかー」

●2011年大会研究懇談会

「漁村集落再生のシナリオー東日本大震災からの復興ー」

●2012春季学術研究会(仙台)

「復興支援のとり組みと被災地の現状」

●2012大会研究協議会

「新たな漁村のかたちー東日本大震災からの復興ー」

●2013年大会研究懇談会

「集落に根ざす住まいの再建ー東日本大震災からの復興」

●2014春季学術研究会(仙台)

「住み続けられる農村の計画、被災地で何が可能か？」

技術部門設計競技

●2013年度技術部門設計競技 「次世代に継ぐ住宅の再建計画 —東日本大震災からの復興—」



大会研究集会・春季学術研究会

- 2013大会研究協議会

「自立と循環の国土 ―北海道の地域づくりを考える」

- 2013年春季学術研究会

「農山漁村を動かす人々、地域組織のこれから」

- 2014大会研究協議会

「住み継がれるカタチ ―フロンティアとしての農山漁村」

- 2014大会パネルディスカッション

「文化的景観のまもりかた ―営みの真実性はどのように保たれるのか」



研究会

- 研究会 2013年6月29日
むらを住み継ぐカタチ#02: 徳島県三好市

- 研究会 2014年11月22日
むらを住み継ぐカタチ#03: 大分県国東市

二地域居住や週末居住など現在の住まいや動的な居住の様相とともに、家屋・農地・山林・墓などの財産をいかに継承していくかとの関係性から、集住地を継承するための現代的な方法に資する知恵や工夫を抽出することを目指し、継続的に研究会を開催している。



ワークショップ

自然再生にとり組むボランティア活動と参与観察

- 登山整備 みろく山の会
- エコツーリズム NPO丹沢自然学校
- 間伐作業 NPO伊勢原森林里山研究会
- 荒廃農林地支援 8/27NPO四十発瀬川・自然村



研究会・国際交流

●研究会交流会 2014年1月31日 「チベットの建築文化」

中国建築学会副 理事長の徐宗威が中心に進めているチベットのラサとシガツェの建築保存活動を支援しつつ、研究蓄積や文化交流などの実績の少ないこの分野(チベット伝統的建築文化)の理解を深めるため日中学術交流を開催するものである。



国際交流

日韓研究交流会 1996年～実施

韓国農村建築学会とほぼ毎年相互交流を実施

過去10年の実績

- 2005年：韓国・慶州
- 2006年：日本・那覇
- 2007年：韓国・淳州
- 2008年：日本・札幌
- 2010年：韓国・ソウル
- 2012年：日本・山口
- 2013年：韓国・全州
- 2014年：日本・岡山



今後とも交流を深め、日韓双方の学術向上に努めていくことを確認しあった。

情報発信

農村計画委員会ホームページの充実



農村計画委員会

Rural Planning Committee

- 委員会組織の沿革・概要
- 委員会規程
- 委員
- 委員会議事録NEW
- 委員会通信

- 大会関連
- 学術研究会関連
- 環境教育科研

- 委員会構成
- 刊行物など
- 各支部
- リンク

- AJJ電子フォーラムへ
- シンポジウムなど
- メーリングリスト

- 日本建築学会
- 日本都市計画学会
- 農村計画学会
- 日本造園学会

Copyright(C)2000-2008 Architectural Institute of Japan/Rural Planning Committee
ご質問・ご意見は
ルーラルネットWG
shibata@nishitech.ac.jpまで

一般社団法人 日本建築学会



農村計画委員会

Rural Planning Committee

☆新着情報☆

■2014年度大会学術講演会若手優秀発表について(2015/2/4) NEW
結果→→→

■本委員会議事録を掲載しました！(2015/2/4) NEW
2014/11/13 本委員会 議事録

■委員会通信を掲載しました！(2014/6/4)
こちらへ→→→

過去の更新履歴→→→

☆農村計画委員会関連の情報等の配信希望の方はshibata@nishitech.ac.jpまでお願いします！
☆みなさんのホームページにこどもんリンクして 農村計画の情報が集まるページしたいと思います。
ホームページの情報や載せたいデータなどをメールで送って下さい！

情報発信

農山漁村文化景観小委員会

FACEBOOK開設(英語)

[https://www.facebook.com/
Cultural.Landscape.AIJSubCom](https://www.facebook.com/Cultural.Landscape.AIJSubCom)

これまでの活動を発展させ、
海外事例との交流を行うため
英語で情報発信

The screenshot shows the Facebook profile of the 'Cultural Landscape / AIJ sub committee'. The page header includes the Facebook logo and navigation links. The cover photo displays a traditional Japanese building with a tiled roof. Below the cover photo, the page name 'Cultural Landscape / AIJ sub committee' is shown, along with the description '非営利団体' (Non-profit organization). The page tabs include 'タイムライン' (Timeline), '基本データ' (Basic Data), '写真' (Photos), 'いいね!' (Like), and 'もっと見る' (See more). The 'いいね!' tab is selected, showing 29 likes. The '情報' (Info) tab is also visible, displaying the committee's description and a link to the AIJ website. The '写真' (Photos) tab shows a grid of images, including a book cover titled 'BOROBUDUR as Cultural Landscape'. The main post on the timeline is dated February 28th at 21:20 and is titled 'New book on cultural landscape: BOROBUDUR as Cultural Landscape'. The post text describes the book as 'Local Communities' Initiatives for the Evolutive Conservation of Pusaka Saujana BOROBUDUR' and lists the editors: Kiyoko Kanki, Laretna T. Adishakti, and Titin Fatimah eds... The post also includes a link to the book and a '翻訳を見る' (View translation) button.

ご清聴ありがとうございました